



ほんものを たべよう

提出日	1/ 火 水 木 金
	11 12 13 14
配達日	1/ 火 水 木 金
	18 19 20 21
翌々週分配達日	1/ 火 水 木 金
	25 26 27 28

オルターの提案

- 本当に安全な食べものを手渡すために
- 「だれが・どこで・どのようにつくったか」の情報を日本一公開します。
 - 「国産」「無農薬」にこだわり、日本の伝統食を守ります。
 - 原料段階・飼育段階からポストハーベスト農薬、遺伝子組み換え、放射能汚染、トランス脂肪酸、食品添加物などを徹底的に追放します。
 - プラスチック容器・レトルト食品を追放します。

Alter Weekly Order Catalogue

2022. 1月3日 週号

野菜

自然栽培irodori野菜

美味しさに彩りを添えて

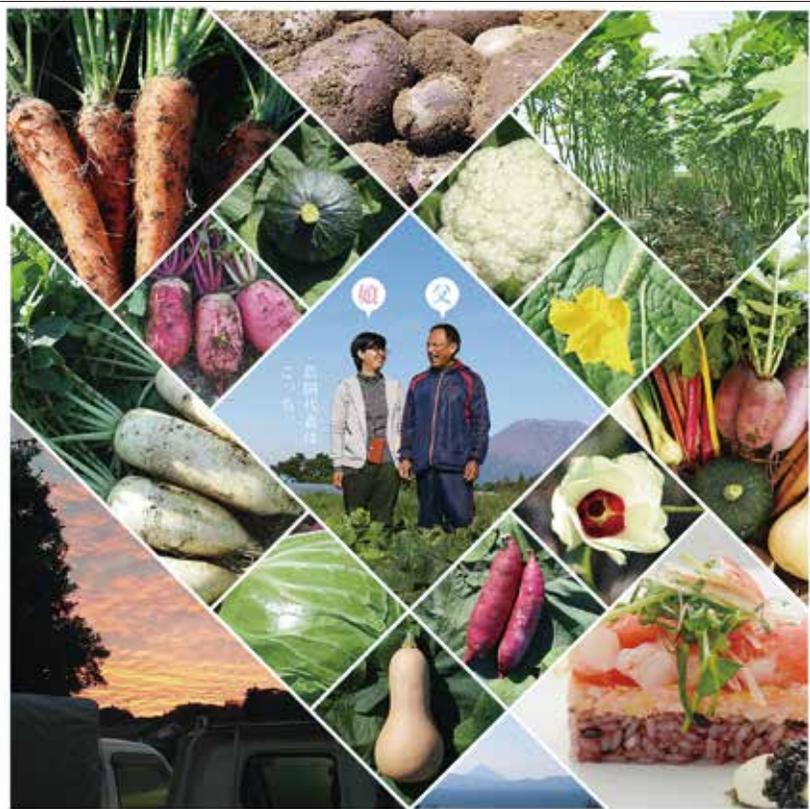
irodori野菜 もり畑

文責 西川 榮郎(安全な食べ物のネットワーク オルター 代表)

自然栽培で100種類以上

桜島にほど近い鹿児島県垂水市の「irodori 野菜 もり畑」森 千秋代表は160aの畑で、年間100種類以上の野菜を自然栽培しています。固定種や希少品種にもチャレンジしています。鹿児島の温暖な気候を活かし、通常出荷されるよりも早く、そして長い期間野菜を出荷しています。

「irodori 野菜」の命名には、「おいしさに、彩りを添えて届けたい」という想いが込められています。「食べていただく方の笑顔につながってほしい」という願いも込められています。



緑肥を活用

森 千秋さんの自然栽培は、緑肥(ソルゴー)を活用しています。緑肥を播種し成長したら、ハンマーナイフモアで粉碎し、土の上で乾燥させます。しばらくしてから再び伸びたソルゴーを粉碎という工程を2、3回繰り返し、トラクターにてすき込みます。圃場へは、種を使う以外、肥料(堆肥)、農薬、資材などを一切投入しません。

畑の土はフカフカで、農作物の色合いもよく、たいへんおいしい野菜たちです。

大学を卒業して新規就農

森 千秋さんは、地元鹿児島大学農学部を卒業した2013年から、35aの畑を借りて、露地栽培で有機農業に取り組み始めました。森林組合で働き、家庭菜園を始めていた父、森 秀治さんの影響でした。

“彩り豊かな旬の野菜栽培”をモットーに、農薬・化学肥料を一切使わず、有機堆肥のみで有機栽培を試みました。

しかし、病害虫防除対策が思うようにいかず、有機



irodori野菜 もり畑の森 千秋代表と父の秀治さん

栽培に限界を感じ、新たな栽培技術を模索しました。あとでわかったことですが、窒素肥料の過剰投入による病虫害発生に苦労させられていたのです。

親子で彩りを届けたい

2016年には熊本県和水町の農家の“炭素循環農法”に出会い、その健康的でおいしい野菜に感動して自然栽培へと切り替えていきました。このころから父、森 秀治さんも本格的に参加しました。

今では、かつての堆肥投入による窒素過剰の影響から抜けて、病虫害も軽減され、土もよくなり、野菜たちの味もぐんとよくなりました。

オルターへのご紹介は、オルターの生産者、東山ベジフルの大西 諒さんからで、2019年からカタログで「紅くるり」大根などをご紹介してきました。



▲島らっきょう

▲カラフルスイスチャード



親子で
彩りを
届けたい。

毎日の食に欠かせない野菜だから。

野菜の生命力に惹かれました。

平成25年春から地元鹿児島市で始めた野菜作り。

「おいしさに、彩りを添えて届けたい。」

その想いが食べていただく方の笑顔に

つながってほしいと願いを込めて。

家族と伴に、野菜と土に向き合う毎日です。

今日ほどの子を送り出そうかな。



「irodori 野菜 もり畑」のポスター

irodori 野菜 もり畑の 自然栽培野菜 ☆☆☆

●種類

ジャガイモ、ニンジン、サトイモ、サツマイモ、カボチャ、カブ、ダイコン、サラダハクサイ、レタス、キャベツ、スナップエンドウ、キヌサヤ、ブロッコリー、葉ネギ、シュンギク、サラダゴボウ、葉付き玉ネギなど100種類以上

●防除

農薬の使用ありません

●施肥

化学肥料の使用ありません
緑肥(ソルゴー)をすき込むだけです